世界各地で人類史古層の土器作りが復活し、現代の作家による再現・創作が行われています。
こうした動きは原点回帰と共に未来を志向し新しい創造を模索する文化潮流となっています。
アートの根源から
未来の創造へ！
〈猪風来美術館企画展〉
縄文土器やアマゾンの土器たちが語るもの
2023年2月1日（水）～5月28日（日）
【関連企画】座談会「土器たちが語るもの」
日時　2月25日（土・祝）午後1時～3時　/　場所　企画展示室　申込不要（要観覧料）
古谷嘉章（九州大学名誉教授）縄文、アマゾン先住民文化を広く知る人類学者の視点から
能本直子（岡山大学文明動態学研究所教授）縄文土器の認知考古学、比較考古学の視点から
直井土マウ（岡山県立大学デザイン学部准教授）古代アメリカ土器復元制作等、土器の作り手の視点から
猪風来（縄文造形家・猪風来美術館館長）縄文土器・土偶復元制作、現代縄文アーティストの視点から
【出品作家】
アマゾン（ブラジル）土器　メストレ・カルドーゾ
古代アメリカ土器　直井土マウ
北米ホピ族土器　ドロシー
縄文土器・土偶　猪風来・村上原野・土田智生・兵部百華
猪風来美術館
新見市法曽陶芸館
〒719-2552
岡山県新見市法曽609
TEL/FAX 0867-75-2444
http://www.ifurai.jp/
日本唯一の現代縄文美術館。
縄文造形家・猪風来と村上原野
の縄文黒焼き作品など代表作を
200点以上を常設展示。
生命と魂のデザイン
～縄文スパイラルアートを
現在直下で鑑覧。
【開館時間】午前9:30～午後5:00
【休館日】月曜日
（冬期12月～2月は月・火曜日）
【観覧料】一般400円/高校生200円
【アクセス】新見ICから車で30分
JR井倉駅からタクシーで約15分

0867-75-2444

086-251-7442
ridc@okayama-u.ac.jp

086-251-8463